

株式会社チヨダ



2024年2月期第2四半期 決算説明会

<登壇者>

代表取締役社長

町野 雅俊

取締役 財務本部長

今田 至

取締役 商品統括本部長

大喜多 利一

取締役 管理本部長

井上 裕一郎

2023年10月20日

AP東京丸の内

— 第1部 —

2024年2月期 第2四半期 経営状況の報告

取締役財務本部長

今田 至

— 第2部 —

今後の重点施策

代表取締役社長

町野 雅俊

質疑応答

2024年2月期第2四半期 経営状況の報告

取締役 財務本部長 今田 至

増収・増益

【連結】PLの概要・要因①

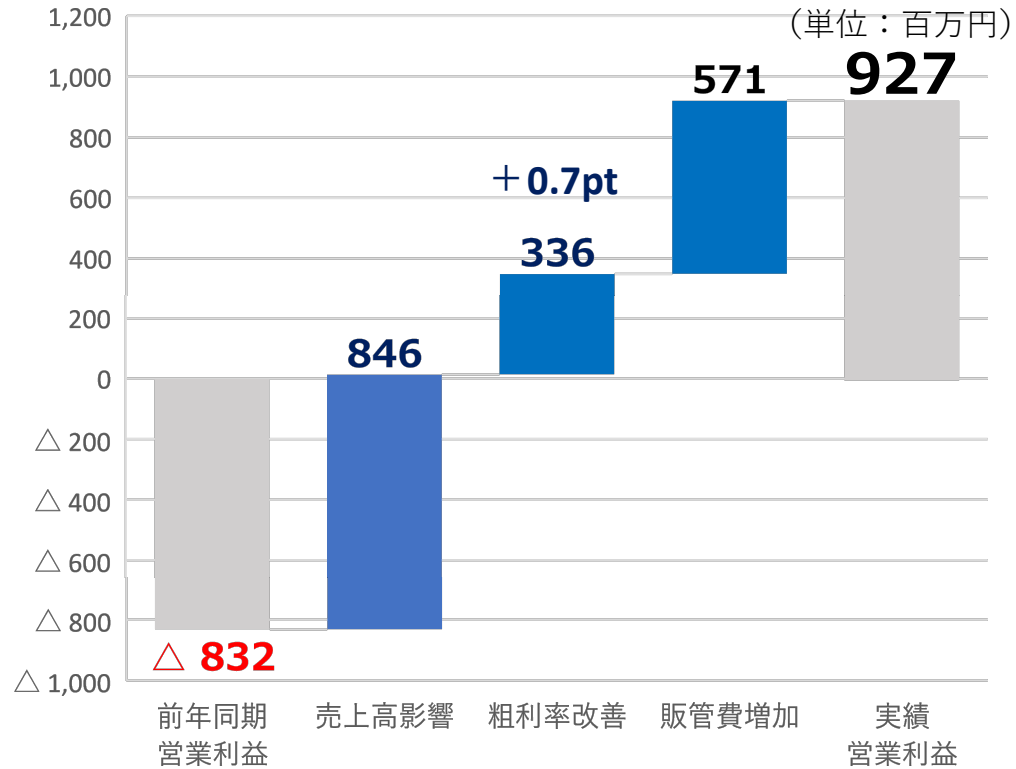
単位：億円

	23/2月期 第2四半期実績	24/2月期 第2四半期計画	24/2月期 第2四半期実績	前期比	計画比
売上高 (売上比)	462 (100.0)	485 (100.0)	480 (100.0)	103.9	99.2
売上総利益 (売上比)	215 (46.5)	226 (46.7)	226 (47.2)	105.5	100.2
販管費 (売上比)	223 (48.3)	220 (45.5)	217 (45.3)	97.4	98.7
営業利益 (△は損失) (売上比)	△ 8 —	6 (1.2)	9 (1.9)	—	154.5
経常利益 (△は損失) (売上比)	△ 7 —	7 (1.5)	10 (2.2)	—	142.6
四半期純利益 (△は損失) (売上比)	△ 10 —	5 (1.2)	8 (1.7)	—	145.4
1株当たり四半期 純利益(円銭)	△30.68	16.26	23.65	—	145.4

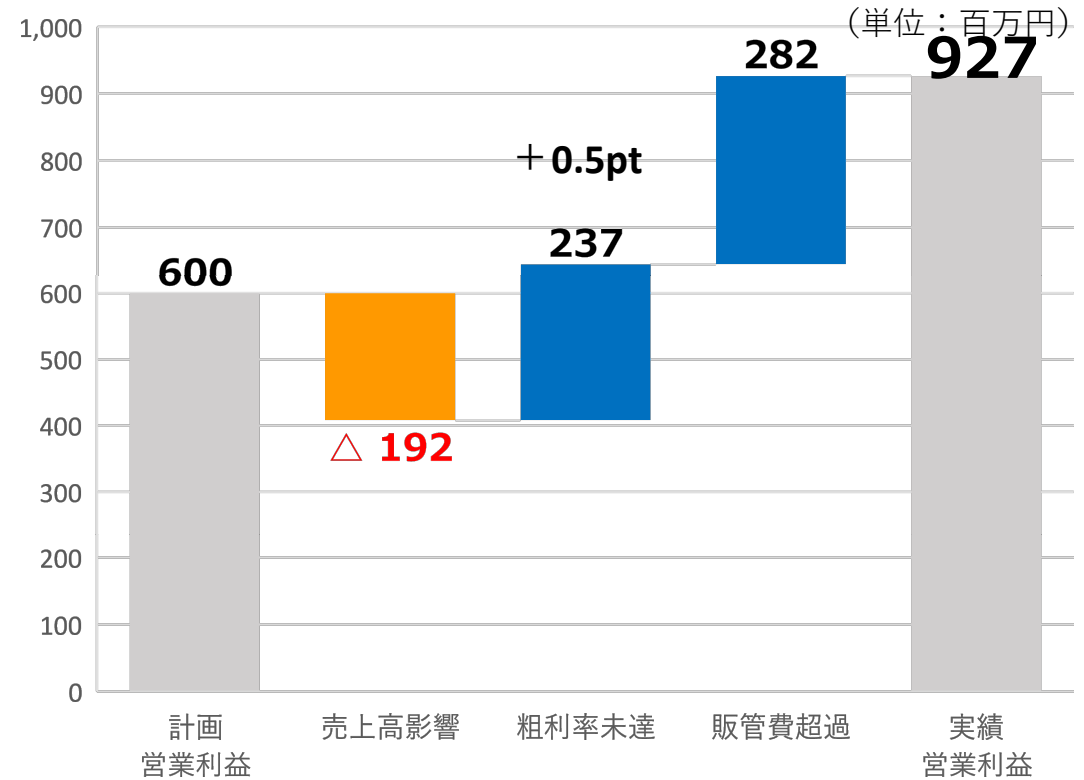
- 売上高、前年同期比18億円増（計画比4億円減）
- 営業利益、前年同期比17億円増（計画比3億円増）
- 四半期純利益、前年同期比19億円増（計画比2億円増）

【連結】PLの概要・要因②

営業利益前年同期差異



営業利益計画差異



※：売上影響：売上の増減に伴う利益への影響額
 粗利率：粗利益率の差による利益の影響額
 販管費：経費増加・超過は△、経費減少・削減は正数

増収・増益

【単体】PLの概要・要因

単位：億円

	23/2月期 第2四半期実績	24/2月期 第2四半期計画	24/2月期 第2四半期実績	前期比	計画比
売上高 (売上比)	372 (100.0)	395 (100.0)	399 (100.0)	107.1	101.1
売上総利益 (売上比)	169 (45.6)	183 (46.5)	184 (46.1)	108.4	100.2
販管費 (売上比)	175 (47.0)	172 (43.6)	172 (43.3)	98.6	100.4
営業利益 (△は損失) (売上比)	△ 5 —	11 (2.9)	11 (2.8)	—	97.9
経常利益 (△は損失) (売上比)	△ 3 —	13 (3.4)	13 (3.3)	—	98.2
四半期純利益 (△は損失) (売上比)	△ 6 —	10 (2.7)	10 (2.6)	—	100.2
1株当たり四半期 純利益（円銭）	△19.42	29.94	29.97	—	100.1

- 売上高、前年同期比 26 億円増（計画比 4 億円増）
- 営業利益、前年同期比 16 億円増益（計画比 23 百万円減）
- 四半期純利益、前年同期比 17 億円増益（計画通り）

【単体】決算概要

「増収要因」 （前年同期比）

商品部門別	前年比 (%)
紳士	111.8
婦人	110.0
子供	100.1
スニーカー雨靴	106.0
サンダル関係	104.2
その他	107.3
全社合計	107.1

地区別	前年比 (%)
関東	108.4
東北	104.7
北海道	105.3
中部	106.8
関西	104.9
九州	102.6
EC・その他	179.7
全社計	107.1

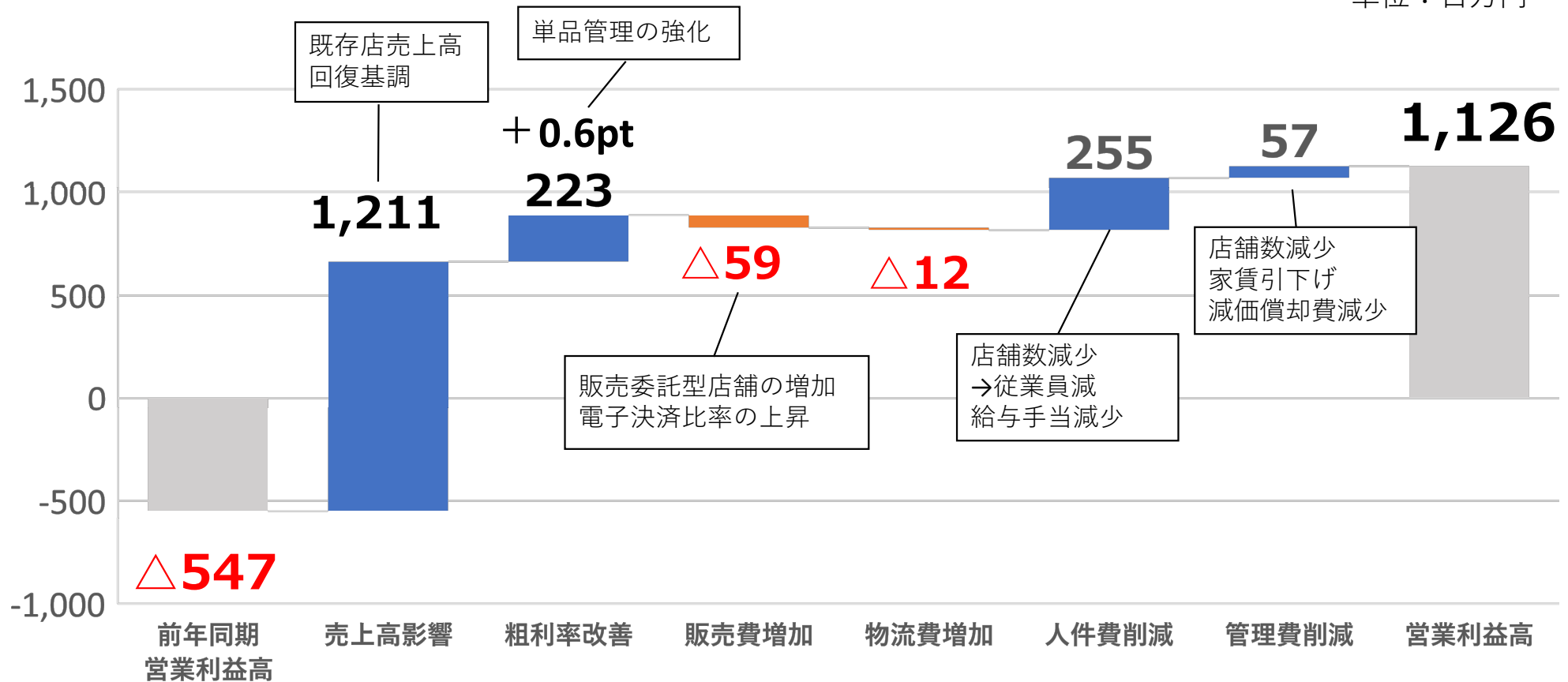
立地別	前年比 (%)
大型SC（リージョナルSC）	108.6
中型SC（コミュニティSC）	109.7
小型SC（ネイバーフッドSC）	105.7
ロードサイド複合（オープンモール）	105.6
ロードサイド単独	104.9
駅前・駅近	116.9
EC・その他	179.7
全社合計	107.1

注釈）各前年比は社内管理数値

【単体】決算概要①

「前年同期比較 営業利益変動理由」

単位：百万円

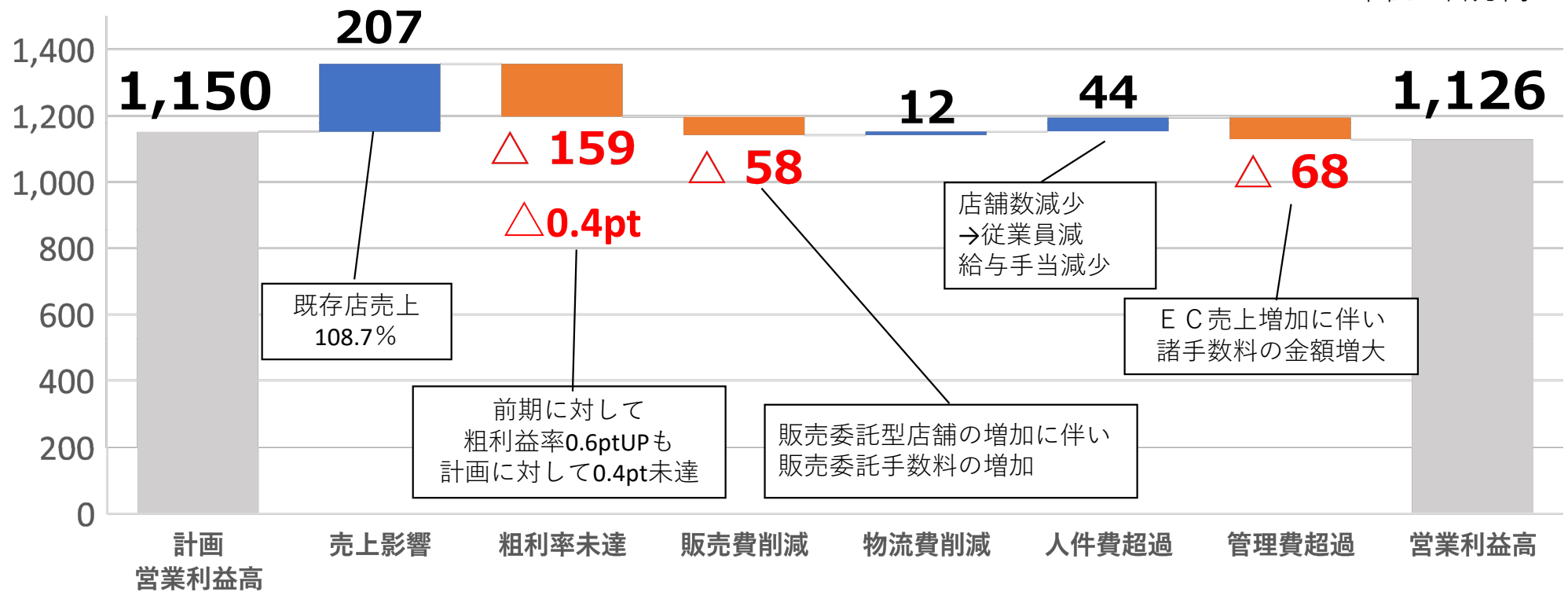


※：売上影響：売上の増減に伴う利益への影響額
 粗利率：粗利益率の差による利益の影響額
 販管費：経費増加・超過は△、経費減少・削減は正数

【単体】決算概要②

「期初計画比較 営業利益変動理由」

単位：百万円



※：売上影響：売上の増減に伴う利益への影響額
 粗利率：粗利益率の差による利益の影響額
 販管費：経費増加・超過は△、経費減少・削減は正数

【連結】BSの概要・要因

(億円：%)	23/2月期末		24/2月期第2四半期		比較 増減額
		構成比		構成比	
流動資産	590	67.7	557	66.6	△32
現・預金	258	29.7	231	27.7	△27
受取手形・売掛金	28	3.3	36	4.4	7
商品	281	32.3	268	32.0	△13
固定資産	281	32.3	279	33.4	△1
リース資産(純額)	1	0.2	1	0.2	△0
敷金及び保証金	98	11.2	95	11.3	△3
資産合計	872	100.0	837	100.0	△34
流動負債	235	27.0	198	23.7	△37
固定負債	122	14.1	122	14.7	0
負債合計	358	41.1	321	38.4	△37
純資産合計	513	58.9	515	61.6	2
負債、純資産合計	872	100.0	837	100.0	△34

	23/2月期末	24/2月期第2四半期
1株当たり純資産(円)	1,417.44	1,428.88
自己資本比率(%)	57.0	60.0

【単体】BSの概要・要因

	23/2月期末		24/2月期第2四半期		比較 増減額
(億円：%)		構成比		構成比	
流動資産	505	65.9	492	65.3	△13
現・預金	225	29.4	212	28.2	△12
受取手形・売掛金	25	3.3	32	4.3	7
商品	236	30.8	229	30.4	△7
固定資産	261	34.1	261	34.7	0
リース資産(純額)	1	0.2	1	0.2	△0
敷金及び保証金	75	9.9	74	9.8	△1
資産合計	767	100.0	754	100.0	△12
流動負債	188	24.5	168	22.4	△19
固定負債	97	12.8	98	13.0	0
負債合計	285	37.3	267	35.4	△18
純資産合計	481	62.7	487	64.6	5
負債、純資産合計	767	100.0	754	100.0	△12

	23/2月期末	24/2月期第2四半期
1株当たり純資産(円)	1,369.05	1,384.99
自己資本比率(%)	62.6	64.5

【連結】キャッシュフロー・設備投資・減価償却

(億円)	23/2月期 第2四半期	24/2月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25	△15	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△3	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7	△6	1
現金及び現金同等物の期末残高	283	227	△55

[キャッシュフローの状況]

営業活動

- 「税金等調整前当期純利益」 △ 9 億円。
- 「たな卸資産の増減額」 1 3 億円 「仕入債務の増減額」 △ 3 6 億円

投資活動

- 支出：「投資有価証券の取得による支出」 △ 7 億円
- 収入：「投資有価証券の売却及び償還による収入」 3 億円

財務活動

- 「配当金の支払額」 △ 4 億円
- 「リース債務の返済による支出」 △ 1 億円

(億円)	23/2月期 第2四半期	24/2月期 第2四半期	増減額	前年同期比	期初計画	計画比増減額	期初計画比
設備投資	5	3	△2	62.8	4	△0	84.1
減価償却	4	4	△0	95.9	4	△0	83.9

【連結】 出退店状況

24/2月期第2四半期			期初店舗数	出店	退店	期末店舗数	純増数
靴事業	(株)	チヨダ	921	7	20	908	▲ 13
衣料品事業	(株)	マックハウス	320	5	28	297	▲ 23
グループ合計			1,241	12	48	1,205	▲ 36

【単体】 出退店状況

24/2月期第2四半期			期首店舗数	出店	退店	期末店舗数	増減
(株)	チ	ヨダ	921	7	20	908	▲ 13
	東京靴流通センター		515	3	6	512	▲ 3
	シュ－プラザ		357	2	8	351	▲ 6
	C Y ・ S P C ・ P T 他		49	2	6	45	▲ 4

【単体】「出退店実績」

出店上期 **7**店舗（通期計画**10**店舗） 閉店上期 **20**店舗（通期計画**50**店舗）

【2024年2月期第2四半期 立地タイプ別出退店実績】 （店）

立地	2023/2末	出店	閉店	2023/8末
大型S C（リージョナル）	4 8	2	3	4 7
中型S C（コミュニティ）	7 1	2	1	7 2
小型S C（ネイバーフッド）	1 4 3	3	5	1 4 1
ロードサイド複合型	1 7 1	—	2	1 6 9
ロードサイド単独	4 5 1	—	8	4 4 3
駅前・駅近	3 7	—	1	3 6
全社合計	9 2 1	7	20	9 0 8

出店事例

「実績重視の出店」 (実績エリアでのリロケーション)

(シュープラザ かほくイオンモール店)



(2023年3月17日オープン)

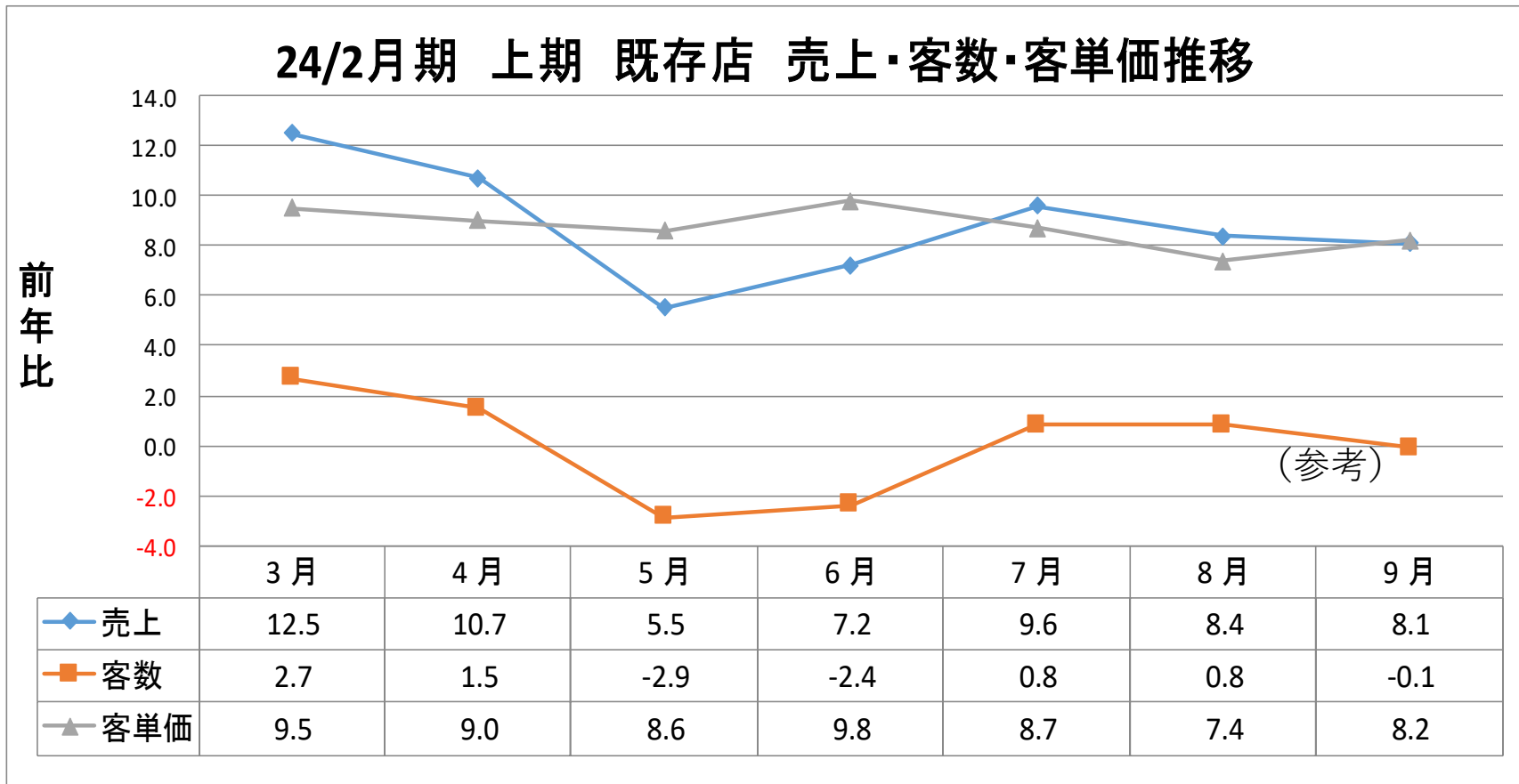
(東京靴流通センター ホームズ川崎大師店)



(2023年6月9日オープン)

【单体】既存店推移

上期：売上 +8.7 客数▲0.3 客単価 +8.9



今後の重点施策

代表取締役社長 町野 雅俊

「今期の重点施策」

『ReBORN』

(リボーン:業績復活戦略)

- (1) 商品開発力強化
- (2) マーケティング手法の変更
- (3) 販売チャネルの拡大
- (4) 業務効率と商品管理体制の見直し
- (5) 顧客満足度向上
- (6) サステナブル経営

上半期『重点施策』の達成状況①

売上計画比	単体101.1%	連結 99.2%
売上前年同期比	単体107.1%	連結103.9%
営業利益計画比	単体 97.9%	連結154.5%

重点施策	達成状況
(1)商品開発力強化	○
(2)マーケティング手法の変更	○
(3)販売チャネルの拡大	△
(4)業務効率と商品管理体制の見直し	△
(5)顧客満足度向上	△
(6)サステナブル経営	○

上半期『重点施策』の達成状況②

(1) プライベートブランド(PB)商品の販売好調

・靴事業の粗利益率 上半期前年差異 +0.9%pt

・プライベートブランド比率 上半期前年差異 +3.1%pt

(2) デジタルマーケティングの強化

・靴事業のアナログ販促費 上半期前年差異 ▲190百万円

・靴事業のデジタル販促費 上半期前年差異 +120百万円

(3) 販売チャネルの拡大

・トモエ商事株式会社の子会社化

(1) 商品開発力強化①

当初計画470万足から
上方修正！

主力4プライベートブランド（PB）販売計画

前年実績 **436** 万足 ⇨ 今期年間修正計画 **485** 万足（前期比 **111%**）

主力4PBの今期売上額見込 前期比 **120%**

PB比率計画37.5%
を上回って推移

上半期PB比率 **37.9%**（前年差異 **+3.1%pt**）

HYDRO-TECH® 上期実績 **25** 万足 ⇒ 今期見込 **50** 万足（前期比 **102%**）

BIO-FITTER® 上期実績 **104** 万足 ⇒ 今期見込 **200** 万足（前期比 **103%**）

CEDAR CREST® 上期実績 **94** 万足 ⇒ 今期見込 **185** 万足（前期比 **122%**）
since 1925

fuwaraku® 上期実績 **27** 万足 ⇒ 今期見込 **50** 万足（前期比 **108%**）

(1) 商品開発力強化②



店舗と連動させたプロモーションを実施！！

TVCM、WEBサイト、SNS、アプリ、新聞などの活用

前期

15万足

発売開始から
大ヒット！

今期

50万足

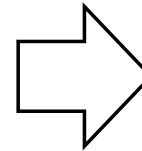
目標の50万足は
達成見込み！

来期

70万足

更に展開拡大

10月5日 新聞広告



マーケティング 手法の変更

イベント出展やSNSの活用による 『スパットシューズ』の拡販



たまひよ Family Park 2023 in パシフィコ横浜 に出展



スパットシューズの
体験会を実施



「中期のたまごクラブ」2023年秋号PR掲載

- ・招待読者のイベント体験による共感や
インフルエンサーによる共感、**発信**

「たまひよ」イベントにて体験会＋商品に関するアンケート実施

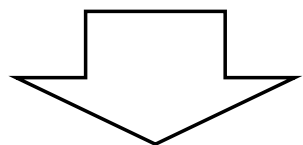
(約6,000名の会場来場者)

- ・SNSやアプリからスパットシューズ購入者の感想、要望を収集

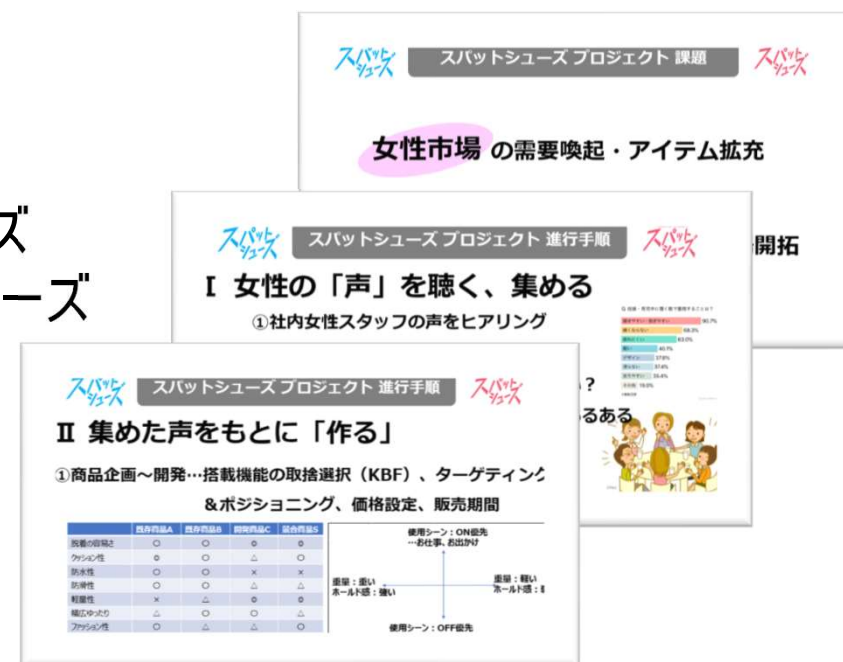
◎市場巻き込み型の商品開発と仕掛け作り
「スパットシューズプロジェクト」始動

消費者の声を基にした商品開発強化

- ・女性目線のデザイン、機能を搭載したシリーズ
- ・高齢者に求められるデザイン、機能を搭載したシリーズ
- ・職場業種ごとに必要なデザイン、機能を搭載したシリーズ



“スパット履ける”機能を
搭載した靴の可能性探求



『スパットシューズプロジェクト』企画書

「好調PB商品の展開拡大」

「セダークレスト ストレッチ」年間販売計画 **13**万足

CEDAR CREST®
since 1925

ストレッチビジネス

履きやすさを追求した
快適ビジネスシューズ

伸縮性 × **超はっ水**



好評継続発売

人気のストレッチ素材と高機能インソール
を搭載したカジュアルシリーズが**新発売**

CEDAR CREST®
ASHI-TORE®

- 浮き指を改善※**
足指が動く空間を作り、足本来の動きをサポート！
- 土踏まずを圧迫しない**
動くスペースを作って理想的な歩行へ！
- 足アーチを守る**
立方骨・踵骨前部を支えアーチをサポートし、足指が使える環境に導きます。

※高崎健康福祉大学とのインソールある・なしでの歩行による効果、3ヵ月実証実験の結果、効果には個人差がございます。

伸縮性素材

**ストレッチ
アッパー**

足当たり
ストレスフリー



(税込 6,490円)

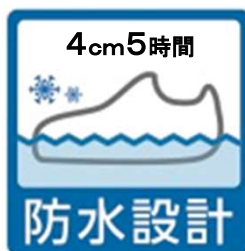
「好調PB商品の展開拡大」

「ユーティリティスニーカー」年間販売計画 **16**万足

履いて実感!

もっちり体感!
クッションソールで
疲れにくい

婦人・子供靴の強化



接地面
**4cm5時間
防水**



C2ブレスシールド搭載モデル

靴内部のC2ブレスシールド（防水膜）が
水の侵入を防ぐ



新登場 透湿防水ユーティリティスニーカー



子供用から大人用までシリーズで発売
(税込 5,940円)

(税込 4,290円)

「好調PB商品の展開拡大」

もっとラクにがんばれるパンプス

fuwaraku®

自由な足もとに
スニーカーパンプス



足を包み込むようにフィットする新素材インソール



(税込 4,950円)

軽量・高屈曲らくらくアウトソール

「スニーカーパンプス」
シリーズ

年間販売計画 **10** 万足

(2) マーケティング手法の変更①

マーケティング手法の変更による最適化・最大化

◎アナログ販促からデジタル販促へのシフト

- ・TVCM、WEBサイト、SNS、アプリ、メールなど、多様化する情報収集チャネルへの対応
- ・顧客との接点を増やし、商品情報を繰り返しお届け

◎店舗とECのシームレス化推進

- ・EC注文⇒店舗でフィッティング、店頭注文⇒自宅受け取りなど、多様化する購買パターンへの対応
- ・店舗アプリ会員とEC会員との連携(来期予定)により、顧客情報を一元管理

消費者の
行動パターンに併せた
サービスの提供

(2) マーケティング手法の変更②

デジタル事業改革の推進（ECサイトの活用）

◎「お店で注文 自宅で受け取りサービス」11月スタート

OMO（ネットと店舗の融合）

- ・お店にない商品でもお店でネット注文が可能
⇒EC在庫を活用した在庫効率の改善、欠品による機会ロスの減少
- ・お店でネット注文した商品の自宅or店舗受け取りが選べる
⇒お客様のタイムパフォーマンス向上

豊富な品揃えと
利便性の提供

EC
サイト
活用

第1弾

ECサイトのリニューアル

 **kutsu.com**

2022年3月

第2弾

全店舗で店舗受け取り

ECで買って、店舗受け取り
* 店舗で支払い
* 試着可能

2022年9月

第3弾（完了）

お店でもネット注文ができる

* 店舗欠品対策
* 端サイズネットで注文
* 狭小店舗の在庫削減

2023年11月

(2) マーケティング手法の変更③

アプリを活用した顧客のロイヤルティ化

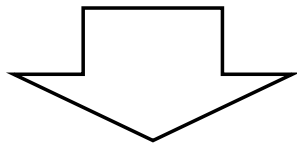
◎CDP (Customer Data Platform) の実践による可視化

- ・アプリの顧客情報可視化

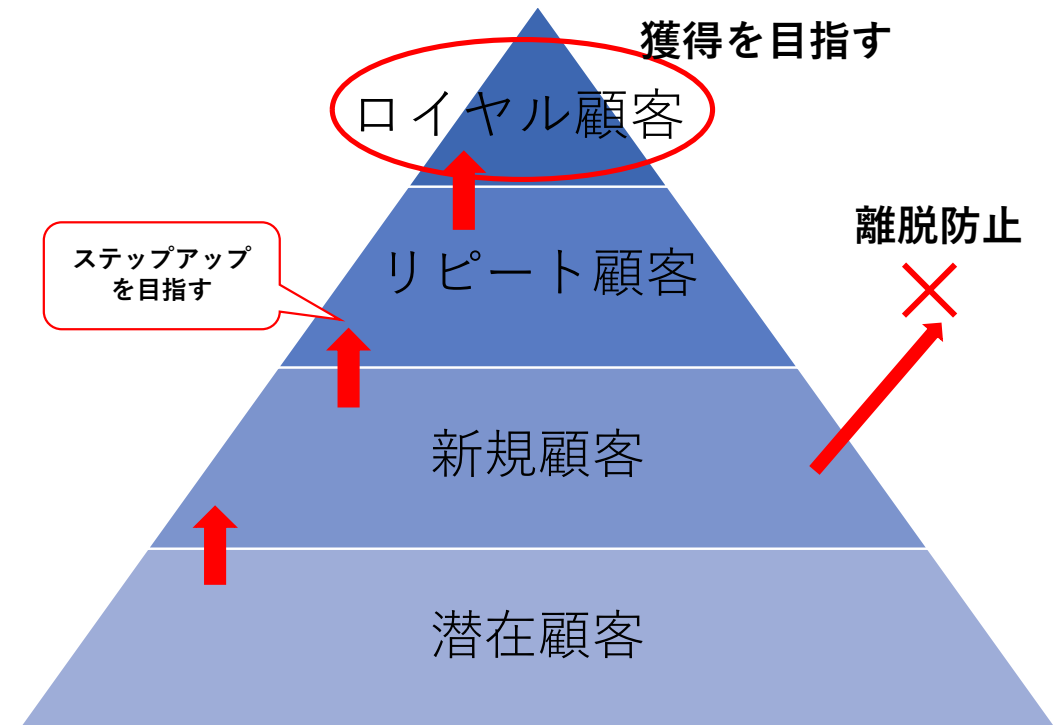
⇒顧客分析により、ロイヤル顧客に近づくほど、
購入総額だけではなく、購入単価も上昇する傾向が判明。

- ・データを元にした施策、戦略の実践

⇒購入機会や購入動機を増やす事で、顧客階層を
ステップアップさせていく仕組みづくりを行う。(来期計画)



ONE to ONE マーケティングの実践へ



(3) 販売チャネルの拡大①

《EC事業》

◎上期売上はほぼ計画通りの着地



- ・売上前年比は25ヶ月連続で達成中(2021年9月～2023年9月まで)
- ・メルマガからのリピーター増加(ECメルマガ会員現在13万人)
- ・下期はPB商品と自社サイトへの流入に広告を集中

《法人事業》

◎訪問販売のリピーター増加



- ・自粛緩和により福祉施設への訪問販売は増加傾向
(通期で100施設以上を訪問予定、来期は500施設を目標に！)
- ・法人販売の契約締結は実績も積み上がり増加中
(スーパー、倉庫、運送業向けの販売実績増加)

(3) 販売チャネルの拡大②

トモ工商事株式会社を完全子会社化

◎販売チャネル拡大への積極的な投資

- ・百貨店向け販売チャネルの獲得

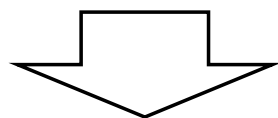
(法人向けビジネスの多様化)

- ・老舗紳士靴卸企業の取得

(紳士ビジネスシューズカテゴリーのシェア拡大)

- ・早期連結業績への寄与、トモ工商事単体での黒字化計画推進

(2024年2月期第3四半期決算より連結子会社化)



今後も販路拡大とシナジー創出を積極的に推進



トモ工商事
PB商品
『鞆ゑ(ともえ)』
小売価格 47,300円

トモエ商事株式会社の取り扱いブランド



DRESS IMPORT

**ANTHONY CLEVERLEY
GEORGE CLEVERLEY
STEFANO BEMER
ENZO BONAFE
CARMINA**



DRESS JAPANESE

**UNION IMPERIAL
SCOTCH GRAIN
MARELLI
MARELLI REFRESHOE
PIDO
PIDO LIGHT WALKER
靴系**



CASUAL IMPORT

**FRATELLI FERRANTE
COLE HAAN
ECCO**



CASUAL JAPANESE

**ACHILLESS SORBO
WORLD MARCH
GOLF**



(4) 業務効率と商品管理体制の見直し①

棚割り計画推進 ⇒ 利益拡大への好循環

◎「MD戦略プロジェクト」始動

- ・店舗業態の差別化（品揃え・単価など）
 - ・単品別営業利益分析に基づいた売場レイアウトの共有
- ⇒ 品揃えの効率化・収益の最大化へ

◎「商品カテゴリー細分化プロジェクト」始動

- ・お客様目線の売場作りと、
- ネット時代に合わせたきめ細かなカテゴリー分け
- ⇒ 売場のゾーニングを起点にした品揃え・商品管理体制へ

お客様目線に基づいた
買いやすい棚割り

業態別戦略

(4) 業務効率と商品管理体制の見直し②

靴 SHOE PLAZA

ブランドセレクト・提案強化型ゾーニング戦略



SHOP in SHOP スタイル
シュープラザアクロスプラザ長野檀田店

**靴 TOKYO SHOES
RETAILING CENTER !!**

使用シーン重視型ゾーニング戦略



インショップ店を強化

東京靴流通センターホームズ川崎大師店

(4) 業務効率と商品管理体制の見直し③

プライベートブランド（PB）商品の品質改善

◎“はきごこち満足度”を軸にした商品開発始動

- ・チヨダ版『安全品質基準』の遵守

⇒主力PB商品から運用開始

⇒機能基準と機能紹介ピクトグラムの統一で分かり易く



- ・購入者の声、使用体験を基にした開発強化

⇒商品別“はきごち満足度”アンケートを活用した消費者まきこみ型の開発

⇒店舗スタッフから消費者の声を集めた、営・商・販縦断型の開発

- ## ・海外協力工場での現場生産管理再開

専門店ならではの
品質提供による
ユーザーエクスペリエンス
の向上

型の開発

株式会社 チヨダ

安全品質基準

 Chiyoda

制定 令和 4年 4月 1日

規格基準 内

規格名	規格番号	規格内容
ISO 9001	ISO 9001:2015	品質マネジメントシステム 要求事項
ISO 14001	ISO 14001:2015	環境マネジメントシステム 要求事項
ISO 45001	ISO 45001:2018	職業安全衛生マネジメントシステム 要求事項
ISO 27001	ISO 27001:2017	情報セキュリティマネジメントシステム 要求事項
ISO 26262	ISO 26262:2018	道路車両の機能安全 要求事項
ISO 26264	ISO 26264:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26265	ISO 26265:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26266	ISO 26266:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26267	ISO 26267:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26268	ISO 26268:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26269	ISO 26269:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26270	ISO 26270:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26271	ISO 26271:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26272	ISO 26272:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26273	ISO 26273:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26274	ISO 26274:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26275	ISO 26275:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26276	ISO 26276:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26277	ISO 26277:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26278	ISO 26278:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26279	ISO 26279:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26280	ISO 26280:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26281	ISO 26281:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26282	ISO 26282:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26283	ISO 26283:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26284	ISO 26284:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26285	ISO 26285:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26286	ISO 26286:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26287	ISO 26287:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26288	ISO 26288:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26289	ISO 26289:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26290	ISO 26290:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26291	ISO 26291:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26292	ISO 26292:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26293	ISO 26293:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26294	ISO 26294:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26295	ISO 26295:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26296	ISO 26296:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26297	ISO 26297:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26298	ISO 26298:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26299	ISO 26299:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26300	ISO 26300:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26301	ISO 26301:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26302	ISO 26302:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26303	ISO 26303:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26304	ISO 26304:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26305	ISO 26305:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26306	ISO 26306:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26307	ISO 26307:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26308	ISO 26308:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26309	ISO 26309:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26310	ISO 26310:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26311	ISO 26311:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26312	ISO 26312:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26313	ISO 26313:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26314	ISO 26314:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26315	ISO 26315:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26316	ISO 26316:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26317	ISO 26317:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26318	ISO 26318:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26319	ISO 26319:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26320	ISO 26320:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26321	ISO 26321:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26322	ISO 26322:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26323	ISO 26323:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26324	ISO 26324:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26325	ISO 26325:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26326	ISO 26326:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26327	ISO 26327:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26328	ISO 26328:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26329	ISO 26329:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26330	ISO 26330:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26331	ISO 26331:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26332	ISO 26332:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26333	ISO 26333:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26334	ISO 26334:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26335	ISO 26335:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26336	ISO 26336:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26337	ISO 26337:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26338	ISO 26338:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26339	ISO 26339:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26340	ISO 26340:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26341	ISO 26341:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26342	ISO 26342:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26343	ISO 26343:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26344	ISO 26344:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26345	ISO 26345:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26346	ISO 26346:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26347	ISO 26347:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26348	ISO 26348:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26349	ISO 26349:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26350	ISO 26350:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26351	ISO 26351:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26352	ISO 26352:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26353	ISO 26353:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26354	ISO 26354:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26355	ISO 26355:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26356	ISO 26356:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26357	ISO 26357:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26358	ISO 26358:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26359	ISO 26359:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26360	ISO 26360:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26361	ISO 26361:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26362	ISO 26362:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26363	ISO 26363:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26364	ISO 26364:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26365	ISO 26365:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26366	ISO 26366:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26367	ISO 26367:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26368	ISO 26368:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26369	ISO 26369:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26370	ISO 26370:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26371	ISO 26371:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26372	ISO 26372:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26373	ISO 26373:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26374	ISO 26374:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26375	ISO 26375:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26376	ISO 26376:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26377	ISO 26377:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26378	ISO 26378:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26379	ISO 26379:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26380	ISO 26380:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26381	ISO 26381:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26382	ISO 26382:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26383	ISO 26383:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26384	ISO 26384:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26385	ISO 26385:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26386	ISO 26386:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26387	ISO 26387:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26388	ISO 26388:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26389	ISO 26389:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26390	ISO 26390:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26391	ISO 26391:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26392	ISO 26392:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26393	ISO 26393:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26394	ISO 26394:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26395	ISO 26395:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26396	ISO 26396:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26397	ISO 26397:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26398	ISO 26398:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26399	ISO 26399:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26400	ISO 26400:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26401	ISO 26401:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26402	ISO 26402:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26403	ISO 26403:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26404	ISO 26404:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26405	ISO 26405:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26406	ISO 26406:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26407	ISO 26407:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26408	ISO 26408:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26409	ISO 26409:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26410	ISO 26410:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26411	ISO 26411:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26412	ISO 26412:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26413	ISO 26413:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26414	ISO 26414:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26415	ISO 26415:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26416	ISO 26416:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26417	ISO 26417:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26418	ISO 26418:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26419	ISO 26419:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26420	ISO 26420:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26421	ISO 26421:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26422	ISO 26422:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26423	ISO 26423:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26424	ISO 26424:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26425	ISO 26425:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26426	ISO 26426:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26427	ISO 26427:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26428	ISO 26428:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26429	ISO 26429:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26430	ISO 26430:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26431	ISO 26431:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26432	ISO 26432:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26433	ISO 26433:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26434	ISO 26434:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26435	ISO 26435:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26436	ISO 26436:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26437	ISO 26437:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26438	ISO 26438:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26439	ISO 26439:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26440	ISO 26440:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26441	ISO 26441:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26442	ISO 26442:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26443	ISO 26443:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26444	ISO 26444:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26445	ISO 26445:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26446	ISO 26446:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26447	ISO 26447:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26448	ISO 26448:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26449	ISO 26449:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26450	ISO 26450:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26451	ISO 26451:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26452	ISO 26452:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26453	ISO 26453:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26454	ISO 26454:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26455	ISO 26455:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26456	ISO 26456:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26457	ISO 26457:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26458	ISO 26458:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26459	ISO 26459:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26460	ISO 26460:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26461	ISO 26461:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26462	ISO 26462:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26463	ISO 26463:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26464	ISO 26464:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26465	ISO 26465:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26466	ISO 26466:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26467	ISO 26467:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26468	ISO 26468:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26469	ISO 26469:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26470	ISO 26470:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26471	ISO 26471:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26472	ISO 26472:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26473	ISO 26473:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26474	ISO 26474:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26475	ISO 26475:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26476	ISO 26476:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26477	ISO 26477:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26478	ISO 26478:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26479	ISO 26479:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26480	ISO 26480:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26481	ISO 26481:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26482	ISO 26482:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26483	ISO 26483:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26484	ISO 26484:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26485	ISO 26485:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26486	ISO 26486:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26487	ISO 26487:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26488	ISO 26488:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26489	ISO 26489:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26490	ISO 26490:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26491	ISO 26491:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26492	ISO 26492:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26493	ISO 26493:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26494	ISO 26494:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26495	ISO 26495:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26496	ISO 26496:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26497	ISO 26497:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26498	ISO 26498:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26499	ISO 26499:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26500	ISO 26500:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26501	ISO 26501:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26502	ISO 26502:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26503	ISO 26503:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26504	ISO 26504:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求事項
ISO 26505	ISO 26505:2017	道路車両の機能安全 開発プロセス 要求

(5) 顧客満足度向上

靴専門店ならではの顧客（個客）満足度向上

⇒従業員のマインド改革

◎購入・使用体験の抜本的向上

- ・顧客満足度向上『スマイルキャンペーン』**実施中**

⇒レビューを基にした業務改善、従業員のマインド改革。

- ・シューフィッターの予約制『靴のはきごこち相談会』**実施中**

⇒お客様の良き相談相手として、9月末現在102店舗にて実施

- ・豊富な品揃えと見やすく買いやすい棚割り、利便性の提供
- ・消費者に寄り添った商品開発と品質向上
- ・店舗とECを活用した利便性のあるカスタマーサービス

信頼され 愛される
地域密着専門店

下期実施

(6) サステナブル経営①

◎環境問題への取り組み



・CDP、及びTCFD提言に伴う温室効果ガス削減への取り組みと開示

目標：2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度対比で50%以上削減⇒達成目途

今期はスコープ3算定を行い、事業活動全体に関するGHG排出量を把握し、改善を図る。

・環境配慮型PB商品の生産強化

今期生産計画100万足 ⇒ 来期生産計画125万足（25%増）

・環境省が推進する「製品サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」への参加

プライベートブランド「HYDRO-TECH」新製品について、商品のライフサイクル各工程における温室効果ガス排出量をCO₂排出量に換算して算出し、商品における環境負荷の見える化を図る。

(6) サステナブル経営②

◎サプライチェーンとの取り組み強化



- ・人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗防止への取り組み
⇒海外協力工場への視察により、労働環境に関する第三者機関による監査の進捗状況等を確認

◎健康経営の推進



- ・従業員の健康保持、増進と長く働けるための取り組み
- ・「ホワイト500」、「プラチナくるみん」認定を目標に！
⇒「健康経営優良法人2023」、「健康優良企業認定」、「くるみん」認定は昨年受領済み。
⇒従業員のストレスチェック、意識調査、健康習慣調査を1つに統合した調査を実施。



この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、あくまでも将来の予測であり、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知ください。